

謹呈 ティンカン会報 厚稿

二本会へおまじ出原にてみたさ。
一中は①番ターナルだけで、
昭16卒のティンカン会の者ならず、
その会報に何か書けと押しつけ
られた次第。

一中の恩師にはおぼろしい人物
の方が多く、悪童の思い出がある。
という形でも、松浦先生の
人生年輪記にふさわしい
人のおお先生と見られる。

児童思い出ばなし
(宮地健チャンの温情) 竹本 孝 (横川馬尺裏)

「先生のお写真を下士り」と懇願申し上げ
たら、わざわざ5年前のすばらしいのを選び
出してご恵送いだいた。えを女性に見せる
と、70才位だろうとか、うちの主人と同じ
60才前後かという者もいて、「私の恩師だ
よ」と説明すれば皆哑然と驚いていたのであ
る。健チャンのすばらしい判断力と温和な
人柄がみなぎっている貴重な一枚だから、私
共18年卒同期や2年先輩の広島デッサン会
の面々へも配ります。

原画では、濃紺の上着にピントのカラー
シャツが実によく似合っており、裏には「今
は辛寿で白髪が少々ふえ右」とメモあり。
健チャンにとっては、私は大変な稀少価値
がある筈だ。着任早々23学級の受持をされ
ると、その組で第1番はベチャに立たされた
のが私だった。2年生へ担任持ち上りの18
学級でも、又私が第1番にメダカに立たされ
たのだ。教員室へ連行されて健チャンへ「折
業開始の整列する時にハア来やがったと言

た。授業中には視力表の清書をしよるし、立たせても全く反省の姿勢が無い。適当に処分して下さい」と引き渡された。健チャンが「キミ一、駄目じゃないか！」と一喝されたので私がパソコンと頭を下げて中敬礼すると、「よし！もう帰れ」とすぐに教員室へ出て下った。

私は5月生れだから1年の時は背が高い方で、机は中央列の一番後だった。これは授業中に机の上ではおのゝことをやるのに最適の位置

なのだ。2年の初めに教室の前へ整列させて健チャンが背の高さの順をいれかえる時には、私はちょっと膝を曲げて中央列の後から2番目の所へ割り込むことに成功した。そのようにして卒業迄、中央列の後の席を常に確保したのである。つまり、学校へはいつも遊びに行つて、机の上では模型電気機関車の設計などをしていたわけだ。

1年1学期の夏休み直前に、健チャンは2年の年令の私共には読ませたい推薦図書の一覧の

謄写刷りをくれた。その中で特に覚えている
1冊の『君たちはどう生きるか』だが、20
03年第51刷のまえがきには、面白い文句を
みつけた。「毎学期のはじめ、全級を整列さ
せて背の高さを見て整列順を変えるとき、出
来るだけ首をのびたりして苦心するのです
が、成功したためしがありません」と書いて
あるのが実になつかしかった。私生活も成

しの顔が今も思



悪童思ひ出はなし
(大杉政之祐先生の熱弁と偉士)
竹本 孝 (横川駅裏) ③-1

1年1学期、23学級で第1番に立たされた
の私に、ベチャの代数の時間だった。丁度
「マイナスマイナスはプラスになる」と変な
日本語で熱弁の最中に、皆神妙にベチャの目
を見て聞きいってゐるのに、私だけが下向
してしきりに何か書いていたのだ。「竹本！今
おしが言うたことをもう一遍言うてみい！」
そんなこと言われてもその言葉通りにマイナ
スマイナスのまゝでは聞いてすぐ分る日本語
ではないから、どう言い変えようかとひるむ

間、一かへかと私の所へベチャがやってく
た。その目にはいたいたのは、丸い穴ふたつに
カードリングを通した代数ノートに描かれた
ベチャの似顔絵であった。「えっ、とれ」はと
にかく、先生が怒ったのはその漫画ではなく
て、熱弁を理解する努力を怠ったと思われた
からであって、こゝが大杉先生の本当に偉い
所なのであり、今でも心から尊敬してゐる次
第です。一学期末に通知表を貰いに来た母へ、
ベチャンが大杉先生へ謝りに行けと言われた

のは当然である。しかしベチャの口からは「
 いや謝らんでよろしい。この子は100点満
 点で1点も欠けていないから、代教はよく分
 った。ほっとけばよろしい」と言われ、無
 罪放免して下さったのだ。それからは、私に
 不勉強なのに、大杉先生は特に良くご指導い
 た。問題の文章の独特な書き方で考え
 方を筋道たてて導かれ、ものの考え方の基本
 をたいき込んで下さったからこそ今の私があ
 るのだと、心から尊敬し感謝申し上げてい

るのである。